

平成24年
2月号

桂台地域ケアプラザ

地域交流プログラム

発行日／平成24年2月1日
編集・発行／横浜市桂台地域ケアプラザ
発行責任者／石塚 淳

お問い合わせ先

地域交流部門 897-1111

HPアドレス

<http://www.katsuradai.com>

桂台 支えあい連絡会

検索

医療的ケアの必要な方のための「多機能型拠点南西部」（仮称）の建設が始まります。

食べたり、呼吸をする機能が弱いためにチューブで栄養を摂ったり、痰を機械で吸ったりする必要のある方がいます。これらの行為は、家族が自宅で日常的に介護として行っているもので、病院で行われる治療目的の「医療行為」とは異なるとして「医療的ケア」と呼ばれています。その医療的ケアを必要とする重い障害のある方とその家族が地域で安心して生活する事を支援する拠点が、ここ桂台に建設される予定です。そして、その設置、運営について、横浜市から訪問の家が任されることになりました。この拠点は、重い障害のある本人、ご家族そして職員が待ち望んだものです。地域の方のご協力を得ながら運営を行って参りますので、皆さまには、今後とも暖かく見守っていただきますよう心からお願い申し上げます。

2月の おしらせ



平成23年度 介護者教室(第2回) 「先輩から学ぶ、介護の心得」

「身内を介護するようになったら……」「自分自身に介護が必要になったら……」

介護を経験された先輩の体験談から、イザという時に役立つ知識や情報をお届けします。

日時 平成24年3月6日(火) 14:00~16:00

場所: 桂台地域ケアプラザ 多目的ホール

募集: 50名(定員になり次第、締切)

申込: 電話かケアプラザの窓口へ



桂台スペシャルデイの お知らせ

桂台地域ケアプラザデイサービスでは、利用者さんへ日頃の感謝を込めて、月に一回「桂台スペシャルデイ」を企画しています。毎月毎月素敵なプログラムを企画していますので、地域の皆様も是非、足をお運び下さい。ご希望の方は、桂台地域ケアプラザまでご連絡下さい。

日時: 平成24年3月4日(日)

14:00~15:00

内容: ~情熱の踊りフラメンコ~

フラメンコの熱い踊りと哀愁ただようバンド演奏をお楽しみ下さい。デイサービスの利用者さんたちと共にスペインの風にふれてください。

場所: 桂台地域ケアプラザダイルーム



本郷中央地区 協働福祉フォーラム

~ずっと住み続けたい街へ
その秘訣とは~

安全・安心で心豊かな街づくりをめざし、パネルディスカッションやビデオ上映を行います。皆さまのご来場をお待ちしております。

日時: 平成24年3月3日(土)

13:30~16:30

場所: 本郷地区センター

2F大集会室

申込み: 桂台地域ケアプラザ

TEL 897-1111



認知症になっても安心して暮らせる街づくりのために

その4 栄区の認知症に対する取り組みについて 前編
横浜市栄区福祉保健センター 高齢支援担当 佐藤係長インタビュー

特集3回目になります今回は、栄区高齢支援担当の佐藤係長からお話を伺ってきました。栄区における高齢者の現状と認知症に対する取り組み、今後の展望を今月、来月と2ヶ月にわたってお届けいたします。



一栄区は元気な高齢者が多い街 ～秘訣は活発な地域活動～

栄区は横浜市のなかで最も高齢化の進んだ区ですが、一方で要介護認定者の比率は最も低く元気な高齢者が多い特徴をもっています。要介護認定率（65歳以上の人で介護が必要な人の割合）の推移をみると平成16年度13.6%をピークに下降が続いていましたが平成20年度の12.5%を底に要介護認定率は再び上昇に転じています。元気な高齢者が多い理由は介護予防の取組が進んでいること、地域活動が活発（地域の中で高齢者の方が社会性を失うことなく生活できている）であることなどが考えられます。また、前期高齢者（65歳～74歳）の割合が高いという特徴も影響しています。今後、後期高齢者の増加が進むことから要介護認定率は上昇することが予想されています。

要介護認定者の原因疾患別にみると「脳血管疾患」（24.1%）、「認知症」（20.5%）が大きな割合となっています。「高齢による衰弱」「転倒による骨折」なども原因として多くなっています。

一認知症の初期は家族が困惑

～解決の鍵は地域の見守りと相談機関へのつながり～

認知症の方の中でも、初期の認知症の人は体が元気なことが多いため、家族にとっては徘徊に対する不安など介護の負担感が重くなっているようです。また、家族にとって初めて「認知症」というものに接する状況であるため、誰に向けてSOSをすればよいのか、どこの病院にかかればよいのか、また、介護保険を使うにはどのようにすればよいのかなど、戸惑われることが多いようです。

栄区の高齢単身世帯、高齢夫婦のみの世帯の推移をみると平成7年には両世帯をあわせて3,590世帯だったものが平成22年には12,099世帯となり15年間に3.4倍となり世帯規模の小さい介護力の低下した世帯が増加しています。世帯の小規模化は様々な問題に結びついているのではないのでしょうか。「何かちょっといつもと違うな」と変化に素早く

気づいたり、「お母さん（お父さん）が大変そうだから」と相談先を探したり、といった「家族による見守り」が難しくなっています。介護保険制度に代表されるように昔と比べて制度やサービスはたくさんできましたが、「制度やサービスにつなげる力」はむしろ弱まっているのではないのでしょうか。

こうした状況を踏まえて、認知症など介護が必要な状態になったときに、いち早く変化に気づき、サービスにつなげることができるよう地域の中での見守りが重要になってきます。また、地域のなかに介護保険制度の相談ができて、わかりやすく説明してくれる場所があることはとても大事だと思っています。

—家族だけで抱え込まないように ～家族の立場に立った支援の視点も大切～

認知症の方を介護しているご家族の中には、「誰に相談したらいいかわからない」といった状況になって孤立してしまうケースや、逆に家族が認知症であることをご近所に知られたくないという思いから抱え込んでしまう場合があります。また、長年連れ添った家族であるからこそ、複雑な感情がからみ、悩むケースもあるようです。そうしたご家族にとって、専門的な支援のもとで、安心して相談できる環境を提供することはとても必要です。そして、介護をしているご家族の方の視点に立って考えることを常に忘れてはならないと思っています。



—現状では少ない若年性認知症の方の居場所づくりの取り組み

若年性認知症（発症年齢が65歳未満の認知症の総称）の方は、その数自体が少ないため、本人の希望に合致する支援がなかなか見つけにくい現状にあります。実際にご本人やご家族の状況を考慮すると、何らかのサポートが必要な状況であることは間違いありませんが、その数の少なさ故に自宅から遠くまで行かないと希望のサービスが受けられないといった状況になっている場合があります。栄区内にも若年性認知症の方の事例がいくつかありましたが、ご本人に適した支援をなかなか見つけられなかったという経験をしました。若年性認知症の方々への支援は広がりつつありますが、栄区内での活動は今までありませんでした。栄区でも支援の輪を広げるために何かできることはないかと考えています。



認知症に関する主な相談（機関栄区のHPより抜粋）

■もの忘れ相談 予約制

認知症に関する医療や対応など専門医がご相談をお受けします。

〔日時〕毎月第4木曜日（午後）

■認知症高齢者徘徊SOSネットワーク 登録制

認知症の方などが徘徊で行方不明になったとき、できるだけ早く、発見・保護に協力するための仕組みです。お近くの地域ケアプラザまたは区役所にご本人の写真（顔・全身）をお持ちになりご相談ください。

■携帯安心カード

とっさの救急事故などに遭遇した時に役立つ「携帯安心カード」を配付しています。このカードに、医療情報を記入して携帯してください。

【お問合せ・予約】 高齢者支援担当 [TEL] 894-8415 [FAX] 893-3083

上郷西地区世代間交流サロン「ぬくもり」大盛況!

年の瀬を迎えた12月18日(日)、正面玄関前で行われた“餅つき”を皮切りに第2回「ぬくもり」が始まりました。

どこまでも青く澄みわたった空に、蒸籠から勢いよく吹き上がるもち米の白い蒸気が鮮やかに映え、子ども会の会長はじめお子さんや関係者の方々が思いっきり振り上げる杵と、ベテランの皆さんの手際よい合いの手で、真綿のようなお餅がつきあがりました。

今回提供するメニューは「つきたて餅・けんちん汁・お漬物」。250円のお値打ち価格で160食余があつという間に売り切れ、心地良いピアノライブが流れるなか、来場者の胃袋を満たしました。

喫茶コーナーでは、プロが煎れてくださった本格コーヒーの香りが漂い、家庭料理の達人による手作りケーキもふるまわれ、生活に役立つ紙芝居を見ながらのくつろぎのひと時が流れました。



イベントコーナーでは、かわいらしいお子さんたちと美しい女性のみなさんが華麗なフラダンスを披露し、デイサービスのご利用者に加え地域の方々が100名もお見えになって、ダイルームには黒山の人だかりができました。お子さんの笑顔・しなやかな踊り・あでやかな衣装が相まって、まるで楽園の島へ導かれたような雰囲気となりました。



また、女性クインテットによるマンドリン演奏は懐かしい曲にはじまり、サンタクロース登場のサプライズをはさんで、クリスマスソングを全員で歌うなど幅広いジャンルで構成されていました。



他にも、ゲーム・パソコン・健康相談など多彩な催しが目白押しのサロンとなりました。

世代を超えて“元気”をもらい、“つながる”ことのできた貴重な時間……。 “みんなにやさしいぬくもりのある出会い”でつなぎ続けていきたいと思えます。これからも「ぬくもり」サロンをぜひお楽しみに!!

次回のご案内

平成24年3月18日(日) 11:00~15:00
桂台地域ケアプラザにて